

- 1 研究主題 人を大切にし 自分も大切にできる児童の育成
— 自己を見つめ よりよく生きようとする児童を育む道德教育 —

2 研究の実際

- (1) 一人ひとりが自己を見つめ、道德的实践意欲を高められる道德授業

① どの子も考えがもてる全員参加の道德授業

場面絵やキーワードの短冊を板書に活用することで読解力の差を埋め、中心発問までのスムーズな流れを作った。また、自分の考えをもちにくい、または表出しにくい児童でも参加しやすいように、タブレット端末や、心情円盤、心の数直線などの道德ツールを取り入れた。さらに、お面やペープサートを使って、役割表現に取り組むことで、登場人物になりきって、楽しく授業に参加することができた。

② 実生活とつないで具体的に自己を見つめる振り返り

授業の振り返りでは、日常の場面や生活目標と結び付けて状況を設定し、これまでの言動や行動を振り返ることにより、生活に生かすための支援とした。その際、行動目標だけでなく、なぜそうするのか、今後大切にしたい心について引き出せるようにした。さらに、普段の生活で価値項目に照らして、よくできている児童を観察し、授業の終末で紹介するなど、様々な方法で生活とつなぐ工夫をした。

- (2) 全教育活動を通した道德教育の推進

① 別葉の作成、活用

学校行事・児童会活動・異学年交流や他教科等の各活動を道德的实践の場として意図的に配置したカリキュラム・マネジメントに取り組んだ。

② 掲示の工夫

児童に道德科の学びと生活とのつながりを意識させ、実践への意欲を喚起するための手立てとして、大きな掲示板に、年間を通して道德掲示をした。教材の挿絵やワークシートだけでなく、キーワードや児童の写真を増やすことで、掲示物への関心を高め、自己を見つめる手立てとなった。

- (3) 学校全体で取り組む道德教育の実践例

① 人権・同和教育とのかかわり

本校では、人権意識の涵養を図る学習や様々な人権課題についての学習を「人を大切にする学習」と呼んでいる。「人を大切にする学習」のまとめとして、保護者や地域の方を招いて、人権集会「なかよしのつどい」を実施している。「人を大切にする学習」で学んだことをもとに、自分たちの生活に身近な内容にまとめ、他学年や保護者、地域の方へ発信している。

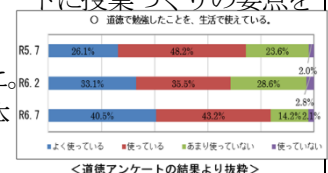
② 児童会活動の取組

生活目標を「あいさつ」(礼儀)「廊下歩行」(節度、節制)「言葉遣い」(親切、思いやり)「清掃」(勤労、公共の精神)の4つを柱に設定している。2つの価値項目で2ヶ月間実施することで、最初の1ヶ月に取り組んだ内容や方法を振り返り、その反省を生かして次の月にレベルアップをめざして実践した。関係する委員会が呼びかけ、放送や賞状で個人や学級のがんばりを認めた。

3 研究の成果と課題

- 「全員参加」を支える手立てを考え、ねらいに応じて取り入れることで、「自分の考えをもつことができている」と答えた児童の割合が上がった(77.4%→87.4%)。「全員参加」をキーワードに授業づくりの要点を共有し取り組んできた成果である。(自校道德アンケートより)

- 道德で勉強したことを生活で使えていると答えた児童の割合が大きく上がった。授業の中で生活とつないで具体的に振り返る場を設定してきたことや、学校全体で道德的価値を意図した取組を推進してきた成果である。



- 「学び合い」の質的な向上を追究したい。教師主導ではなく、児童が意見をつなぎ合って、互いの「学び合い」によって納得感を得たという、より達成感のある授業をめざす。
- 家庭との連携においては、お便りや掲示での発信に加え、授業公開などで、より学校の取組が伝わるような機会を工夫し、家庭や地域でも自分の生活を見直し、道德的实践を促すことにつなげたい。